

**■ 営業実績 (国内; 単体ベース)**

		前年比(%)
既存店	日商	100.0
	客数	95.7
	客単価	104.6
全店	売上高	101.8

※ 既存店前年比は、カード・チケットの影響を除いた数値です。

**■ 店舗数**

	当月	年度累計	国内計 (AFC含)	海外AFC計	国内外合計
出店	20	20	/	/	/
閉店	37	37			
純増減	-17	-17			
<b>月末店舗数</b>	<b>15,708</b>	<b>15,708</b>	<b>16,631</b>	<b>8,318</b>	<b>24,949</b>

**■ AFC別月末店舗数**

沖縄	南九州	JR九州R	国内AFC計
329	388	206	<b>923</b>

**当月の総括**

緊急事態宣言の影響により、都市部を中心に売上・客数の影響が継続して見られたが、3/22の緊急事態宣言の全国的な解除以降は、オフィス・繁華街にも人が戻り始め、売上・客数は回復基調にある。また、日常使いニーズである、日配・生鮮品や惣菜、冷凍食品についても引き続き好調を維持している。

3月からは、今年9月の会社創立40周年に併せて、40周年企画「40のいいこと!？」の各施策に取り組んでいる。「クリスピーチキン」「ファミマ・ザ・メロンパン」「ファミマ・ザ・カレーパン」などの重点商品や、「ファミマのボトルキープ」などの新サービスは、各種メディアにも取り上げられており、全体の既存比押し上げにも貢献している。

**【日用品】** マスクや衣料品が牽引し、前年を大幅にクリアした

**【冷凍食品】** 「お母さん食堂」の冷凍野菜シリーズが好調に推移し、前年をクリアした。

**【デザート】** 3/13放映のテレビで紹介された「クリームたっぷり!濃厚カスタードシュー」「たっぷりクリームのダブルシュー」を中心とした商品が好調に推移した。

株式会社ファミリーマート 月次営業実績の推移[2021年度]

■営業実績(国内;単体)

前年比(%)		21/3	21/4	21/5	21/6	21/7	21/8	21/9	21/10	21/11	21/12	22/1	22/2
既存店	日商	100.0											
	客数	95.7											
	客単価	104.6											

※既存店前年比は、カード・チケットの影響を除いた数値です。

前年比(%)		21/3	21/4	21/5	21/6	21/7	21/8	21/9	21/10	21/11	21/12	22/1	22/2
チェーン全店売上高		101.8											

■店舗数

	21/3	21/4	21/5	21/6	21/7	21/8	21/9	21/10	21/11	21/12	22/1	22/2	合計
出店	20												20
閉店	37												37
純増減	△ 17												△ 17
月末店舗数	15,708												15,708

	21/3	21/4	21/5	21/6	21/7	21/8	21/9	21/10	21/11	21/12	22/1	22/2
ファミリーマート (プロバー)	15,708											
国内AFC	923											
国内計	16,631											
海外AFC	8,318											
国内外計	24,949											

・国内AFC内訳

	21/3	21/4	21/5	21/6	21/7	21/8	21/9	21/10	21/11	21/12	22/1	22/2
沖縄	329											
南九州	388											
JR九州リテール	206											
国内AFC計	923											